

サイエンスフォーラム2005～科学の鉄人～は、ブースにおける20分程度の実験ショーまたはトークで、いかに子供を引き付け、科学の原理を理解させるかの技量を競います。

出演者は、事前に応募された教員や学芸員、そして科学教育に携わるボランティアの方々に、1日目に実演・審査を行い、2日目に優れた実践のノウハウについて意見交換を行います。科学教育に興味を持ち、2日間をとおして科学実験ショーやトークなど教育実践について議論していただける方々を募集しております。「見えないものをみる!」というテーマで、子どもが科学をよりよく理解するための新しい教育手法について一緒に議論しましょう。

皆さまのご参加をお待ちしております。

■概要:

日時: 2005年2月11日(金)13:00~12日(土)12:30

会場: 科学技術館 <http://www.jsf.or.jp/>

〒102-0091東京都千代田区北の丸公園2-1

募集人数: 40人(2日間通じて参加できる方のみ 先着順)

参加費: 1000円(高校生以下は無料) 懇親会費:4000円

○ブースにおける20分程度の実験ショーまたはトークで、いかに子供を引き付け、科学の原理を理解させるかの技量を競います。(今年度はステージ部門は行いません)

○実演者は小・中・高・大学の教員や博物館・科学館の学芸員、科学教育ボランティアに携わる方などです。

○実演対象はおもに小学生、中学生とします。

○会場に訪れた子どもたち、一般見学者および審査委員の審査により、優秀者を選び表彰します。

○翌日に、優れた実践のノウハウについて議論、意見を交換します。

■プログラム(予定):

2/11(金)☒	13:00~14:00☒	開会式, ステージプレゼン(発表者1人3分)
☒	☒	14:00~14:30☒ 模範演技「クマちゃんブランコ大車輪」東郷伸也(京都市青少年科学センター)
☒	☒	14:30~16:30☒ ブース(30分交代, 出場者1人あたり30分×2回)
☒	☒	17:00~☒ ☒ こども審査結果発表
☒	☒	18:00~☒ ☒ 懇親会
2/12(土)☒	10:00~12:00☒	評価の話し合い
☒	☒	12:00~12:30☒ 閉会式, 科学の鉄人発表, 表彰

■実験ショータイトル(予定):

☒	「空気」	飯島 実(北海道・NPOなかしべつ伝成館)
☒	「揚力」	土佐 幸子(米国・元ボストン科学博物館)
☒	「聞こう!光のメッセージ」	市原 義憲(大阪府・箕面市立東小学校)
☒	「電磁波」	松本 浩幸(北海道・三笠市立三笠中央中学校)
☒	「おべんとうの中の食べられないもの」	古田 豊(埼玉県・立教新座中学校・高等学校)
☒	「火山」	境 智洋(北海道・道立理科教育センター)
☒	「銀河系のカタチ」	成田 直(大阪府・豊能町立東能勢小学校)
☒	「人間の人間らしさ・直立二足歩行」	生源寺孝浩(岐阜県・岐阜大学大学院地域科学研究科)
☒	「植物の進化の名残」	青野 裕幸(北海道・千歳市立駒里中学校)
☒	「消化管」	三上 周治(大阪府・東大阪市立長瀬西小学校)

■参加申込:

名前、所属、連絡先(勤務先or自宅)、住所、電話、E-mail、懇親会(参加or不参加)を記載の上、office@sci-fest.orgまでお送り下さい。(E-mailでのみ受付)

締め切り: 2004年12月20日(月) *注: 子ども審査員の募集は締め切り日が異なります。詳しくは子ども向けチラシかWEBをご覧ください。

■実行委員会:

実行委員長☒ 縣 秀彦(国立天文台科学教育ゼミ代表, 国立天文台広報普及室長)

副実行委員長☒ 滝川洋二(NPO法人理科カリキュラムを考える会理事長, NPO法人ガリレオ工房理事長)

☒ ☒ 左巻健男(検定外中学校教科書執筆者代表, 同志社女子大学教授)

☒ ☒ 篠原秀雄(天文教育普及研究会, 埼玉県立三郷北高校)

☒ ☒ ほか多数